高槻市防災講演会 聴講報告

テーマ：「防災意識の向上」について
講　師：北淡震災記念公園
野島断層保存館　震災の語り部　城本正守氏
日　時：平成18年1月14日PM２：００～４：００
概　要
１・自然災害は避けられないが、被害を最小にするために日頃の心がけと対策が必要。
危険意識を常に持ち・遠回りでも安全な通路を。
２・一生には、２～３度の大きな災害に合うのではないか。
３・地震の発生時の状況。
最初異様な音がした
↓大きな上下動・３回
↓横揺れ（18ｃｍ）動ける状況ではない。
地震が来たら、ガスや電源を切れと言われるが、震源地では人は動けない。
４・人の救助に最初に役にたったのは、大きな機材でなく、ノコギリやスコップだった。
５・北淡町被害状況
①　死者39名、
②北淡町では、３，７００家屋の内、１，０２０家屋が完全に崩壊、１，７００家屋が半崩壊。
６・なぜ死者が少なかったか。
①冬場の早朝で就眠中であった。
②火（炊事）を使う前の時間だった。
③それ以上に重要な事は、隣近所のつき合いの良さ・人の仲が良い。
（家族構成・家族の人数の把握が出来ていた）
④対策本部がすぐ立ち上げられた。
対策本部（46分後設立）
行政・自主消防団・自治会・福祉委員会・等
夕方４時には行方不明者なしの宣言が出来た。
７・避難生活・仮設住宅での注意
①老人ほど気まま・・・共同生活が出来るように
②独居老人は、２人以上で生活する。
孤独死は今まで・・・０
８・初期救助活動
初期救助活動は、隣近所の救助活動・・・生死を分ける。
北淡町では、消防団・自治会の活動が良かった。
独居老人のリストを消防と警察に届けて置いた。
（福祉委員会）
９・立ち直り・・・気力
震災後、崩壊した自分の家を見て、虚脱状態で何も出来ない。
11年たっても脱出出来ない人がいる・・・仮設住宅から出られない。
（心のケアーをして速く脱出出来るようにする必要がある）
10・その他
①非常持ち出し品で携帯ラジオは大事。
②家の耐震診断をし自分の家に安心の心を持って住む。
③対策本部に不要な電話をしない。
④ボランテアイ活動の方が、救援物資の受け付け仕分け・配布までしてくれた。
11・震災の風化
パニック状態にならないように、震災の経験を後世に伝え、何時も心構えが大切。
淡路高校の学生が、聞いた事をビデオや紙芝居にして伝える活動をしている。
Ｓ・Ｏ

スイセン　四季彩

「和名」：水仙　　「科名」：彼岸花科
「性状」：多年草（球根性）
「原産地」：地中海沿岸が原産で、平安時代末期に中国から渡来したといわれている。
英名「ﾅﾙｼｻｽ」はｷﾞﾘｼｬ神話の美少年が、泉に映った自分の姿に恋をして毎日見つめ続けたら、いつのまにか１本の花になってしまった。
水仙にはいろいろの種類と開花時期によって誕生日の花言葉もいろいろあります。
房咲水仙（日本水仙）→思い出、記念
ラッパ水仙　→持って生まれた素質
口紅水仙　→詩人の心　　糸水仙、→思い出
笛吹水仙、→優しい追憶
八重咲水仙、→田園の幸福
漢名の「水仙」を音読みして「すいせん」になった。「仙人は天にある天仙、地にある地仙、水にある水仙」という中国の古典から、きれいな花の姿と芳香が、まるで仙人のようなところから命名された。　　Ｔ．Ｎ

甘辛チャンネル

遺憾！予算決済の一夜漬け

平成十七年度も、後2ヶ月。毎年市内では此の時期、即ち年度末になるとあちこち道路を掘り起してまた埋める。終ったと思ったらその近くでまた掘り起こしてまた埋める。補修のオンパレード。
その年の予算は使い切ってしまわないと翌年度の予算に変動があるとか。
一年は３６５日、年度末だけあちこちの道路が支障を起こすのか？不思議な話だ。
３６５日市内の何処かで常に道路が破損したり、土管が老化している筈。
その都度きちんと対処していれば何も年度末に慌てて集中する必要はない。
道路では、車、自転車、歩行者等常に動き流れている。
その動き、流れを止めない為に警備の人が立っているが、こう言っては失礼だが警備会社の指導が良くないのかな。赤いランプを持った人の手際は全てとは言わないが諸手を挙げて立派とは言い難い。その為に市民や警備員の方達が危険にさらされている場面も見える。学生達が一夜漬けで試験に臨むのは個人の問題。
然し予算の決済の一夜漬けは遺憾である。
Ｎ・Ｙ

編集後記

先日、たかつきフェスタに出展する為の、ＥＭ活性液と、元気玉を指導を受け作りました。
土とＥＭボカシ・活性液等を満遍なく混ぜ、テニスボール大の団子に丸めていきます。
遠い昔、おままごと遊びで土いじりをした頃の懐かしい思い出が浮んできたりしました。
今後も何度か実習や学習をして行く必要があります。皆様のご協力をお願い致します。　Ｓ・Ｎ